

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成25年10月11日

【四半期会計期間】 第64期第3四半期(自 平成25年6月1日 至 平成25年8月31日)

【会社名】 北興化学工業株式会社

【英訳名】 HOKKO CHEMICAL INDUSTRY CO.,LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 中島 喜勝

【本店の所在の場所】 東京都中央区日本橋本石町四丁目4番20号

【電話番号】 03(3279)5151(代表)

【事務連絡者氏名】 常務執行役員経理部長 渡辺 英夫

【最寄りの連絡場所】 東京都中央区日本橋本石町四丁目4番20号

【電話番号】 03(3279)5152(経理部)

【事務連絡者氏名】 常務執行役員経理部長 渡辺 英夫

【縦覧に供する場所】 北興化学工業株式会社名古屋支店
(名古屋市東区東桜一丁目10番37号)
北興化学工業株式会社大阪支店
(大阪市中央区本町三丁目4番10号)
北興化学工業株式会社岡山支店
(岡山市北区磨屋町9番18号)
株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第63期 第3四半期連結 累計期間	第64期 第3四半期連結 累計期間	第63期
会計期間		自 平成23年 12月1日 至 平成24年 8月31日	自 平成24年 12月1日 至 平成25年 8月31日	自 平成23年 12月1日 至 平成24年 11月30日
売上高	(百万円)	29,003	28,836	39,880
経常利益	(百万円)	55	463	705
四半期(当期)純利益 又は四半期純損失()	(百万円)	225	211	142
四半期包括利益 又は包括利益	(百万円)	298	937	291
純資産額	(百万円)	12,714	14,017	13,302
総資産額	(百万円)	40,335	40,184	41,750
1株当たり四半期(当期)純利益金 額又は四半期純損失金額()	(円)	8.17	7.64	5.14
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)	-	-	-
自己資本比率	(%)	31.5	34.9	31.9

回次		第63期 第3四半期連結 会計期間	第64期 第3四半期連結 会計期間
会計期間		自 平成24年 6月1日 至 平成24年 8月31日	自 平成25年 6月1日 至 平成25年 8月31日
1株当たり四半期純損失金額()	(円)	11.67	7.53

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ（当社および当社の関係会社）において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生または前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定または締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、円安の効果などによる輸出の持ち直しを背景に大企業を中心とした企業収益の改善がみられました。また、公共投資の拡大や個人消費が底堅く推移するなど、景気は緩やかに回復しつつある状況となっております。

このような状況のもと、当社グループは積極的な販売に努めましたが、農薬事業における水稻除草剤の販売不振やファインケミカル事業における国内需要の低迷が影響し、全体の売上高は288億3千6百万円（前年同期比1億6千7百万円の減少、同0.6%減）となりました。

営業利益につきましては、製造コストの削減や販売費及び一般管理費の節減に努めた結果、3億3千6百万円（前年同期比9千7百万円の増加、同40.8%増）となりました。

経常利益につきましては、円安に伴う為替差益の大幅な増加により4億6千3百万円（前年同期比4億7百万円の増加、同737.4%増）となりました。

四半期純利益につきましては、前期に発生した法人税等の減税に伴う一時的な税金費用がなくなり、2億1千1百万円（前年同期は四半期純損失2億2千5百万円）となりました。

報告セグメント別の概況は以下のとおりです。

〔農薬事業〕

農薬製品の国内販売は、園芸用殺菌剤が伸長しましたが、水稲用除草剤の販売不振の影響などにより減収となりました。一方、利益面では製造コストの削減や販売費及び一般管理費の節減により増益となりました。この結果、本セグメントの売上高は207億1百万円（前年同期比4千万円の減少、同0.2%減）、営業利益は6億円（前年同期比3億3千2百万円の増加、同124.1%増）となりました。

〔ファインケミカル事業〕

ファインケミカル製品の販売は、樹脂添加剤が前年同期を大幅に上回りましたが、電子材料原料を中心として全般的に受注が低調に推移したことから減収となりました。利益面では円安に伴う原材料価格の上昇や子会社（張家港北興化工有限公司）における製造設備の定期修理の影響等、工場稼働率の低下による製造コストの増加などにより減益となりました。この結果、本セグメントの売上高は80億4千4百万円（前年同期比1億1千万円の減少、同1.3%減）、営業利益は2億1千5百万円（前年同期比2億7千7百万円の減少、同56.2%減）となりました。

（2）財政状態の分析

当第3四半期連結会計期間末における資産の残高は401億8千4百万円となり、前連結会計年度末比15億6千6百万円の減少となりました。これは、受取手形及び売掛金の減少が主な要因です。

負債の残高は261億6千7百万円となり、前連結会計年度末比22億8千万円の減少となりました。これは、未払費用の減少が主な要因です。

純資産の残高は140億1千7百万円となり、前連結会計年度末比7億1千4百万円の増加となりました。これは、四半期純利益の計上のほか、その他有価証券評価差額金および為替換算調整勘定の増加が主な要因です。

（3）事業上および財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループの事業上および財務上の対処すべき課題に重要な変更および新たに生じた課題はありません。

（4）研究開発活動

当第3四半期連結累計期間における研究開発費の総額は、12億8千万円であります。

なお、当第3四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	92,000,000
計	92,000,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成25年8月31日)	提出日現在 発行数(株) (平成25年10月11日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	29,985,531	29,985,531	東京証券取引所 (市場第一部)	・権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式 ・単元株式数 1,000株
計	29,985,531	29,985,531		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式 総数残高 (千株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
平成25年6月1日 ～ 平成25年8月31日		29,985		3,214		2,608

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の議決権の状況については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日である平成25年5月31日の株主名簿により記載しております。

【発行済株式】

平成25年8月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 2,401,000		権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式
完全議決権株式(その他)	普通株式 27,228,000	27,228	同上
単元未満株式	普通株式 356,531		同上
発行済株式総数	29,985,531		
総株主の議決権		27,228	

(注) 「完全議決権株式(その他)」欄には、証券保管振替機構名義の株式が3,000株(議決権の数3個)含まれております。

【自己株式等】

平成25年8月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 北興化学工業株式会社	東京都中央区日本橋本石 町四丁目4番20号	2,401,000		2,401,000	8.01
計		2,401,000		2,401,000	8.01

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間(平成25年6月1日から平成25年8月31日まで)および第3四半期連結累計期間(平成24年12月1日から平成25年8月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について、監査法人日本橋事務所による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,098	1,341
受取手形及び売掛金	13,195	11,400
商品及び製品	9,520	8,989
仕掛品	207	241
原材料及び貯蔵品	3,712	3,875
繰延税金資産	671	472
その他	308	282
流動資産合計	28,711	26,600
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,654	4,679
機械装置及び運搬具（純額）	3,245	3,159
土地	777	777
その他（純額）	288	341
有形固定資産合計	8,965	8,957
無形固定資産		
ソフトウェア	20	31
その他	440	585
無形固定資産合計	460	615
投資その他の資産		
投資有価証券	2,003	2,645
繰延税金資産	1,242	1,016
その他	381	363
貸倒引当金	12	12
投資その他の資産合計	3,614	4,011
固定資産合計	13,038	13,584
資産合計	41,750	40,184

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,996	7,018
短期借入金	5,789	5,511
1年内返済予定の長期借入金	2,267	2,176
未払法人税等	100	62
未払費用	3,820	2,307
賞与引当金	-	197
その他	1,911	1,549
流動負債合計	20,883	18,820
固定負債		
長期借入金	3,556	3,332
退職給付引当金	3,815	3,786
資産除去債務	62	57
その他	130	171
固定負債合計	7,564	7,347
負債合計	28,447	26,167
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,214	3,214
資本剰余金	2,608	2,608
利益剰余金	7,983	7,973
自己株式	995	996
株主資本合計	12,811	12,800
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	691	1,115
繰延ヘッジ損益	9	2
為替換算調整勘定	209	100
その他の包括利益累計額合計	491	1,217
純資産合計	13,302	14,017
負債純資産合計	41,750	40,184

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年12月1日 至平成24年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年12月1日 至平成25年8月31日)
売上高	29,003	28,836
売上原価	22,650	22,543
売上総利益	6,353	6,293
販売費及び一般管理費	6,115	5,957
営業利益	239	336
営業外収益		
受取利息及び配当金	67	59
為替差益	11	289
受取手数料	97	109
その他	89	71
営業外収益合計	264	527
営業外費用		
支払利息	192	155
たな卸資産廃棄損	154	118
その他	102	127
営業外費用合計	448	400
経常利益	55	463
特別利益		
固定資産売却益	0	3
投資有価証券売却益	-	30
特別利益合計	0	33
特別損失		
固定資産除却損	50	49
その他	-	0
特別損失合計	50	49
税金等調整前四半期純利益	5	446
法人税等	231	236
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失()	225	211
四半期純利益又は四半期純損失()	225	211

【四半期連結包括利益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年12月1日 至平成24年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年12月1日 至平成25年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失()	225	211
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	80	425
繰延ヘッジ損益	2	7
為替換算調整勘定	9	309
その他の包括利益合計	73	726
四半期包括利益	298	937
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	298	937
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理しております。
なお、当第3四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が、四半期連結会計期間末残高に含まれております。

	前連結会計年度 (平成24年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年8月31日)
受取手形	-	29百万円
支払手形	-	7百万円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年12月1日 至平成24年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年12月1日 至平成25年8月31日)
減価償却費	1,350百万円	1,227百万円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自平成23年12月1日 至平成24年8月31日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年2月24日 定時株主総会	普通株式	110	4	平成23年11月30日	平成24年2月27日	利益剰余金
平成24年7月13日 取締役会	普通株式	110	4	平成24年5月31日	平成24年8月10日	利益剰余金

2 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自平成24年12月1日 至平成25年8月31日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年2月26日 定時株主総会	普通株式	110	4	平成24年11月30日	平成25年2月27日	利益剰余金
平成25年7月12日 取締役会	普通株式	110	4	平成25年5月31日	平成25年8月12日	利益剰余金

- 2 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの
該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成23年12月1日 至 平成24年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	農薬事業	ファインケ ミカル事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	20,741	8,155	28,895	108	29,003		29,003
セグメント間の内部売上高 又は振替高				270	270	270	
計	20,741	8,155	28,895	378	29,273	270	29,003
セグメント利益	268	492	759	21	781	542	239

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、石油製品等の販売等を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額 542百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用 542百万円、未実現利益の調整額0百万円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する情報

当社は、当社が採用している確定給付型の企業年金制度の一部変更について、平成24年5月23日に厚生労働大臣の認可を受けたことにより、給付利率を固定利率とする制度から変動利率とする制度（キャッシュバランスプラン類似制度）へ平成24年4月1日付で変更しております。

この変更に伴い、退職給付債務（過去勤務債務）が1,388百万円減少し、当該過去勤務債務は、その発生時における従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（10年）による定額法により均等償却しております。これにより、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間のセグメント利益が、農薬事業で64百万円、ファインケミカル事業で30百万円それぞれ増加しております。また、全社費用が4百万円減少しております。

当第3四半期連結累計期間(自平成24年12月1日至平成25年8月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	農薬事業	ファインケ ミカル事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	20,701	8,044	28,746	90	28,836		28,836
セグメント間の内部売上高 又は振替高				275	275	275	
計	20,701	8,044	28,746	365	29,111	275	28,836
セグメント利益	600	215	815	14	829	493	336

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、石油製品等の販売等を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額 493百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用 493百万円、未実現利益の調整額0百万円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額又は四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年12月1日 至平成24年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年12月1日 至平成25年8月31日)
1株当たり四半期純利益金額又は四半期純損失金額()	8円17銭	7円64銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額又は四半期純損失金額() (百万円)	225	211
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額又は四半期純損失金額()(百万円)	225	211
普通株式の期中平均株式数(株)	27,593,012	27,585,637

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【その他】

平成25年7月12日開催の取締役会において、第64期の中間配当を平成25年5月31日の最終の株主名簿に記載または記録された株主または登録株式質権者に対し、次のとおり行うことを決議いたしました。

配当金の総額	110百万円
1株当たりの金額	4円
支払請求権の効力発生日および支払開始日	平成25年8月12日

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年10月11日

北興化学工業株式会社

取締役会 御中

監査法人 日本橋事務所

指定社員
業務執行社員 公認会計士 木下 雅彦 印

指定社員
業務執行社員 公認会計士 小倉 明 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている北興化学工業株式会社の平成24年12月1日から平成25年11月30日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間(平成25年6月1日から平成25年8月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成24年12月1日から平成25年8月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、北興化学工業株式会社及び連結子会社の平成25年8月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。